

6 - 5 沖縄地方とその周辺の地震活動（1988年11月～1989年4月）

Seismic Activity in and around the Okinawa District (November, 1988 - April, 1989)

沖縄気象台

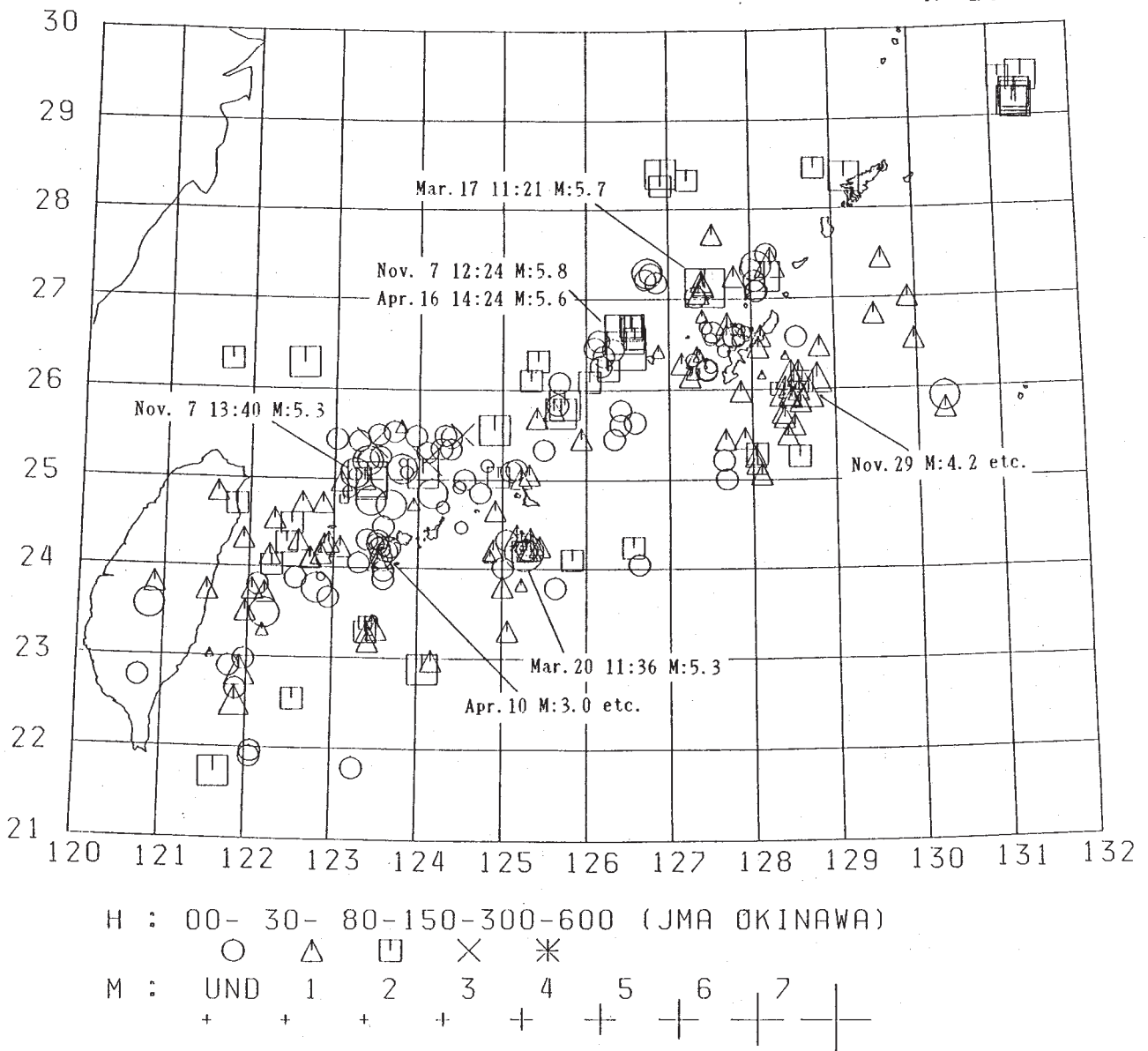
Okinawa Meteorological Observatory, JMA

1988年11月から1989年4月までの震央分布を第1図、与那国島における地震回数を第2図に示す。また、第3、4図にはそれぞれ1988年11月～1989年1月、1989年2月～4月の震央分布を示す。なお、1988年12月27日から1989年3月27日までの期間、福岡に伝送されている名瀬、種子島2の波形データを那覇へ分岐し臨時テレメーター観測を実施した。おもな地震活動は次のとおり。

- (1) 11月7日12時24分・久米島の西方沖にM:5.8の地震（震度Ⅲ：那覇）が発生した。この地震が期間中最大の地震である。この地震の西側に震源が決まった5個の地震（深さ5～20km）はいずれも2月13日に発生した地震である。この地域では4月16日にもM:5.6の地震（震度Ⅱ：那覇、久米島）が発生している。1980年2月から3月にかけて久米島の北方約80km付近に発生した群発地震（最大M:6.7）の震源域は、これらの地震の北側に隣接する地域である。
- (2) 11月7日13時40分：石垣島北西沖にM:5.3の地震（震度Ⅱ：西表島）が発生した。この地震の震央付近では1910年4月12日（M:7.6）および1915年1月6日（M:7.4）にやや深い地震が発生している。
- (3) 那覇の東南東約90km付近では、11月29日01時48分の地震（M:4.2、震度Ⅰ：那覇）および3月15日に付近有感となった2個の地震を含め13個（最大M:4.9）の震源が決まっている。沖縄本島周辺で地震が多い地域のひとつである。1909年8月29日那覇で死者1人、負傷者8人の被害があった地震の震源は、26°00'N, 128°00'E, M:6.2と推定されている。
- (4) 西表島の南西沖では4月10日15時53分にM:3.0の地震（震度Ⅰ：西表島）が発生している。この地震の震央付近では13個の震源が決まっている。これらの地震はほぼ全期間を通して発生したものである。
- (5) 3月17日11時21分・沖縄本島の北西約80km付近にM:5.7の地震（震度Ⅲ：那覇、名護）が発生した。その余震5個とともに震源が決まっている。
- (6) 3月20日11時36分・宮古島の南方約70km付近にM:5.3の地震（震度Ⅱ：宮古島）が発生した。その余震は5回観測されている。この地域では4月22日22時55分にもM:3.7の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生している。

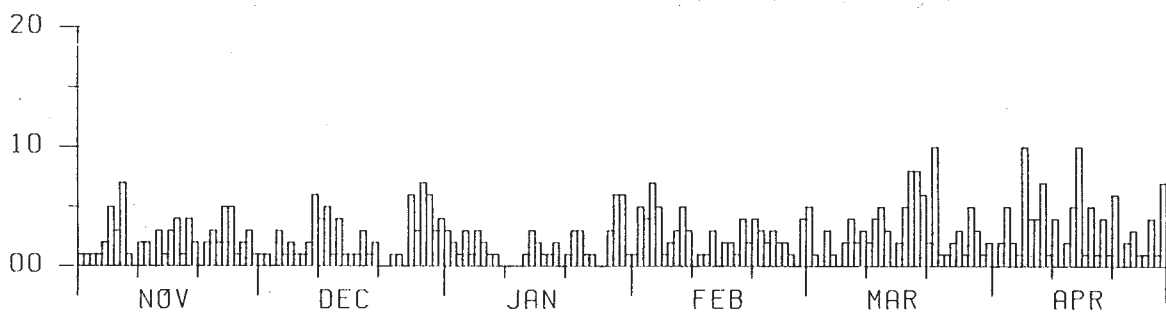
1988 11 1 --- 1989 4 30

N=259



第1図 震央分布 (1988年11月~1989年4月)

Fig. 1 Epicenter Distribution (November, 1988 - April, 1989)

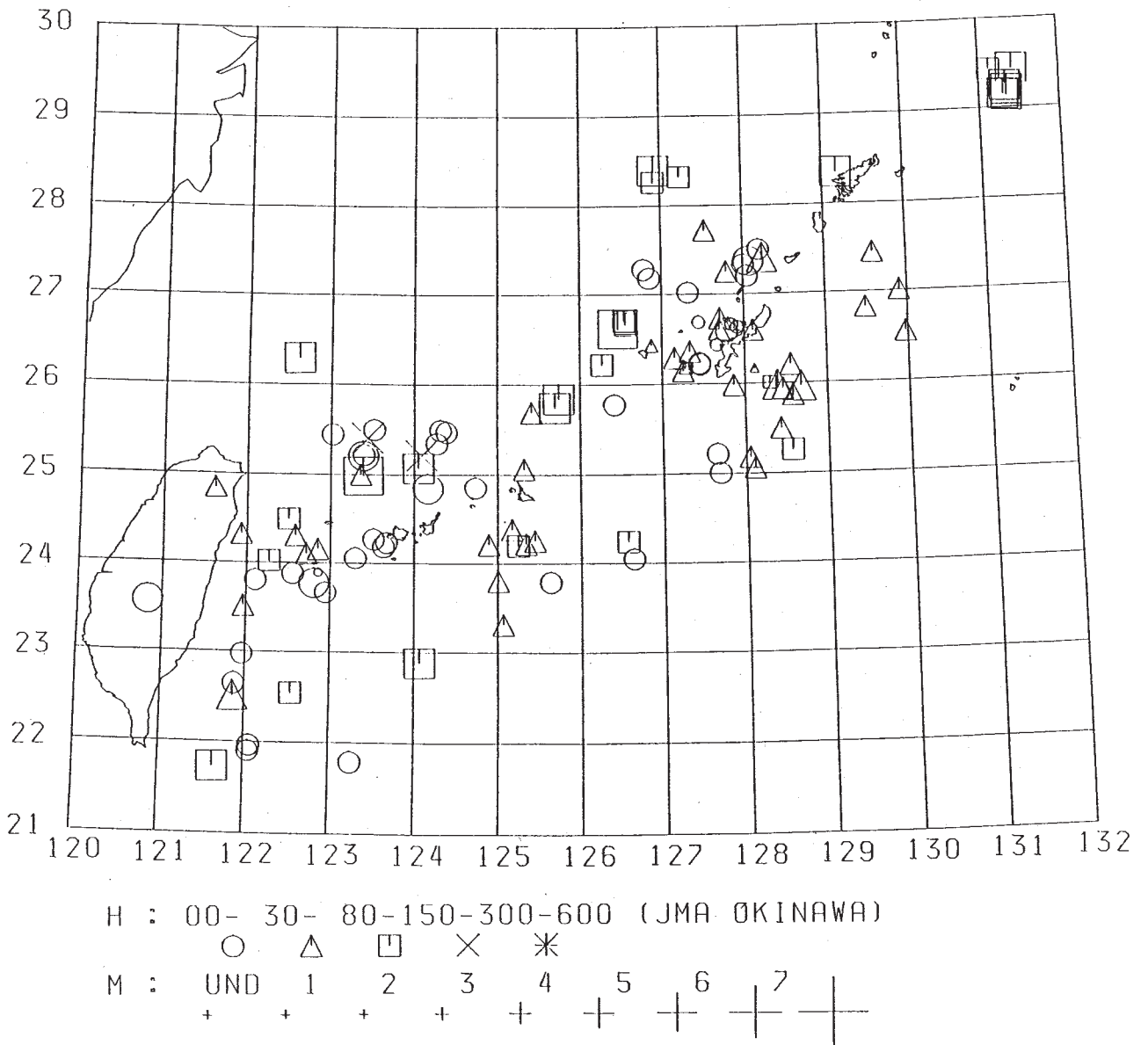


第2図 与那国島における日別地震回数 (1988年11月~1989年4月)

Fig. 2 Daily number of earthquakes observed at Yonagunijima Island.

1988 11 1 --- 1989 1 31

N=115

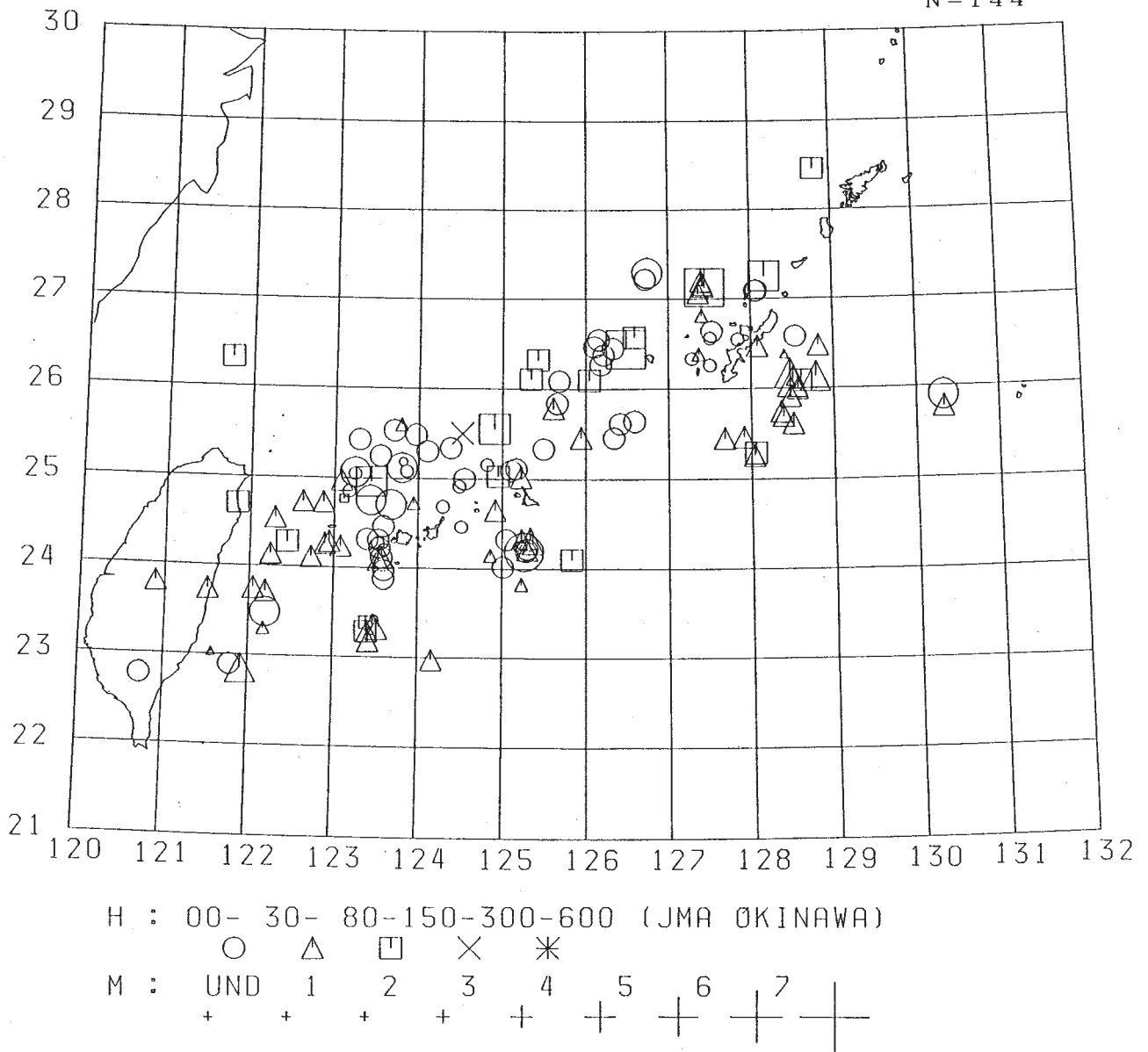


第3図 震央分布 (1988年11月~1989年1月)

Fig. 3 Epicenter Distribution (November, 1988 - January, 1989).

1989 2 1 --- 1989 4 30

N = 144



第4図 震央分布 (1989年2月~1989年4月)

Fig. 4 Epicenter Distribution (February, 1989 - April, 1989).